

2019年10月15日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセット、シリア難民の留学生をインターンとして受け入れ

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、シリア人の大学院生3名をインターンとして初めて受け入れ、日本企業での就業体験と共に、ビジネススキルを学ぶ機会を提供しました。今回参加したインターン生は、JICA(独立行政法人国際協力機構)が実施する事業、「[シリア平和への架け橋・人材育成プログラム\(Japanese Initiative for the future of Syrian Refugees:JISR\)](#)」の留学生です。このプログラムへの参加は、弊社の UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とのパートナーシップにより実現しました。

3名のうち2名はコーポレート・サステナビリティ部で、1名はIT関連部門で2週間のインターンシップを経験しました。また、インターン生は、祖国の紹介や来日前の暮らしに加え、自らの体験の詳細について、弊社社員に対しプレゼンテーションを行ないました。このプレゼンテーションの様子は、日興アセットのシンガポール、オーストラリア、ニュージーランドの各オフィスへのライブ配信も行ないました。

コーポレート・サステナビリティ部でインターンを体験した参加者の1人は、「投資、マーケティング、日本のビジネスについて学ぶことができ、光栄であると共に、素晴らしい機会でした。当初、日本企業での就業は難しいのではないかと不安でしたが、多くの経験を得ることができました。私たちにとって、日興アセットでの女性、LGBT、障がい者、環境といったテーマのワーキンググループに関わった時間はすべて、シリアに持ち帰るべきかけがえのない体験となりました」とコメントしました。

JICAのJISRプログラムの運営・支援を行う認定 [NPO 法人難民支援協会](#) 可部州彦氏は、「多くの若いシリア人が自国を追われました。JISR プログラムは、将来シリアの復興を担い、日本とシリアの架け橋となる人材の育成のため、こうした若者の日本の大学院での就学とインターンシップを支援しています。今回3名のインターン生にこうした機会を提供いただき大変感謝しています」と話しました。

日興アセットの常務執行役員兼コーポレート・サステナビリティ部長のステファニー・ドゥルーズは、「日興アセットでは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の [目標 10:格差の是正](#)に加えて、特に文化的なダイバーシティに焦点を当てて、[目標 4:質の高い教育の普及](#)に取り組んでいます。2017年以來 UNHCR を支援している日興アセットは、インターン生と直に関わり、弊社での就業体験を通じ、社会人として必要なスキルの習得をサポートしたいと考えていました。しかし、それだけでなく、私たちも彼らから学ぶことができました。私たちに心を開き、個人的な境遇を共有してくださったインターン生に心から感謝します。今後は社内の受け入れ体制をさらに整え、より多くのインターン生と出会えることを楽しみにしております」と説明しました。

特設サイト「日興アセットマネジメントとサステナビリティ」: <https://sustainability.nikkoam.com/jp/>

以上

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

55年を超える実績を誇り、30以上の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、約200名の運用プロフェッショナルが約24.1兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計300社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2019年6月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会